





私がいちばん好きなものは  
SAKURA のクレヨンだ

何十年も  
ほとんど変わらない  
あの黄色いパッケージ



世紀末

中国の社会が大きく変わった

国営工場や機関に勤めていた多くの親たちは  
安定した仕事を失った

就学前だった私は  
よく一人で家にいた

テレビと、絵を描くこと  
それがその頃の  
ほとんど唯一の友達だった





**経**済が厳しい時代でも  
私は毎年、クレヨンを贈られていた

コンクリートに描くチョークより  
色が豊かで、長く残るクレヨンは  
とても大切な存在だった

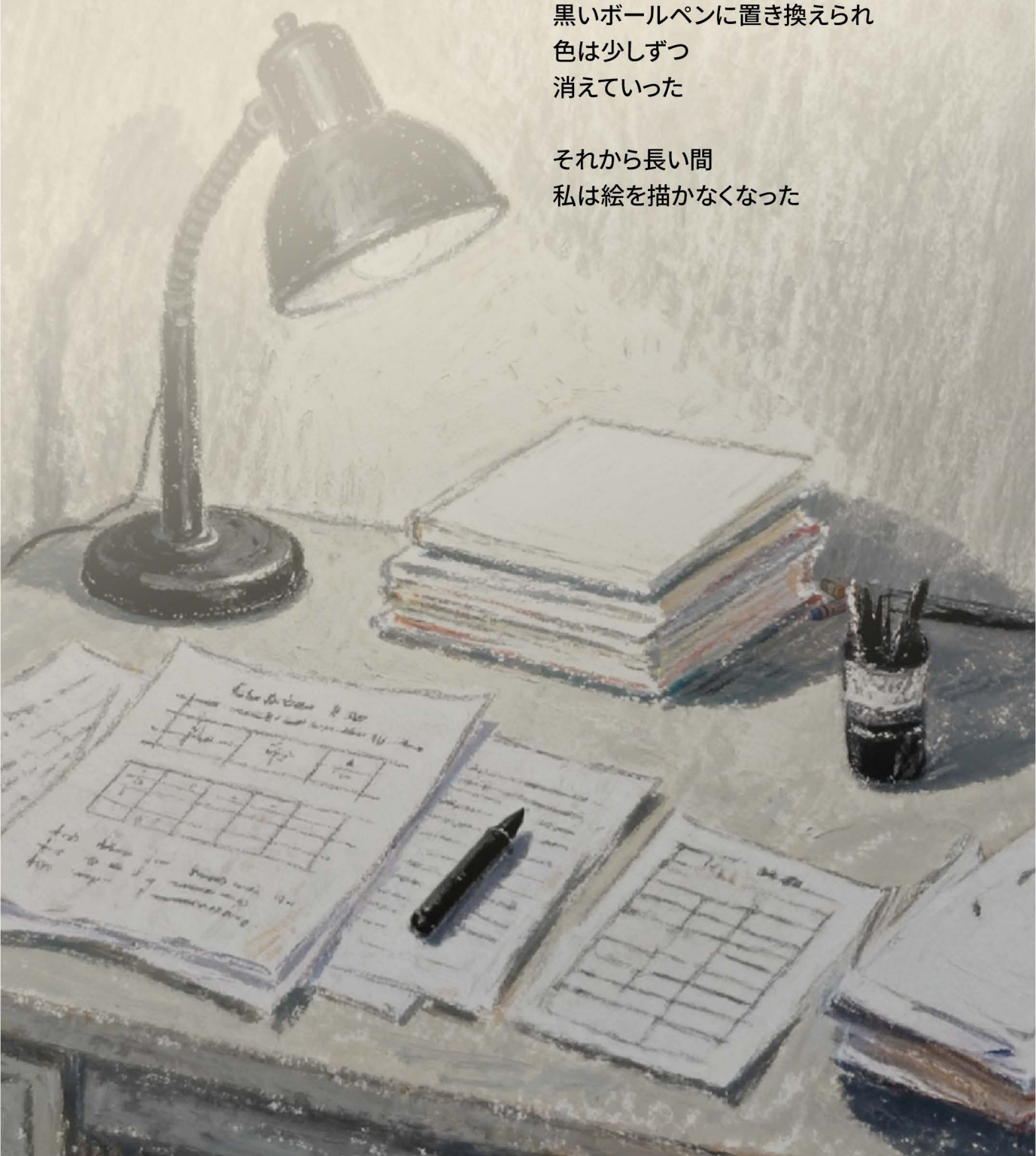
就学前から小学校のほとんどの間  
新学期が始まると  
文房具店で  
あの黄色いクレヨンを選んだ



小 学校高学年になる頃から  
学習のリズムは急に慌ただしくなった

クレヨンは  
黒いボールペンに置き換えられ  
色は少しずつ  
消えていった

それから長い間  
私は絵を描かなくなった





社会に出てから  
よく迷いや退屈を感じていた

仕事は16時30分には終わる  
それでも  
自由な時間が増えるほど  
退屈は深くなった

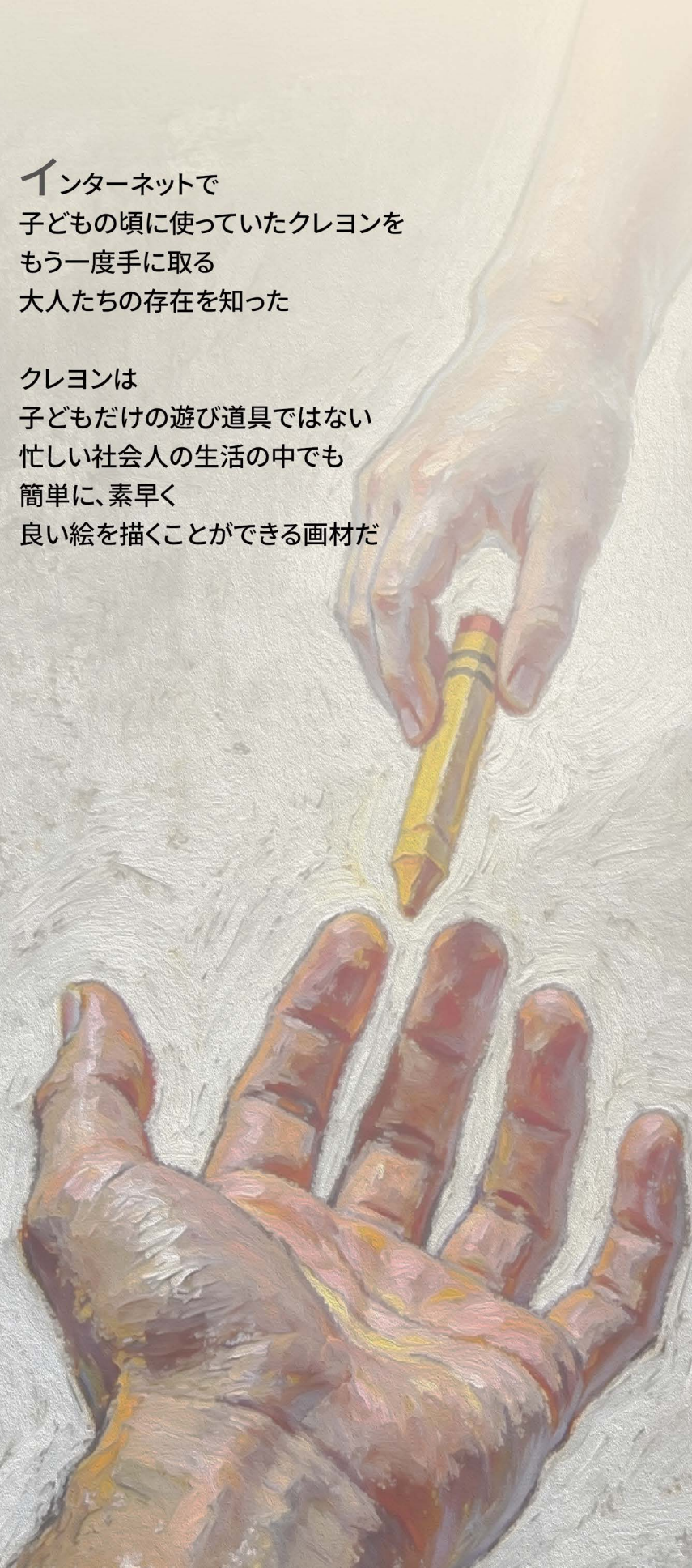
仕事帰り  
あてもなく道を歩き  
時間をやり過ごしていた





インターネットで  
子どもの頃に使っていたクレヨンをもう一度手に取る  
大人たちの存在を知った

クレヨンは  
子どもだけの遊び道具ではない  
忙しい社会人の生活の中でも  
簡単に、素早く  
良い絵を描くことができる画材だ



A large, textured yellow brushstroke background, resembling a thick application of paint with visible horizontal and vertical strokes, creating a mottled and organic appearance.

何十年前

色の少ない売り場で  
黄色は目立っていた

何十年後

色とデザインがあふれる世界でも  
それは同じ黄色で  
変わらず目に入ってくる





日本で販売されている箱には、  
小さな花や鳥、犬が描かれている。

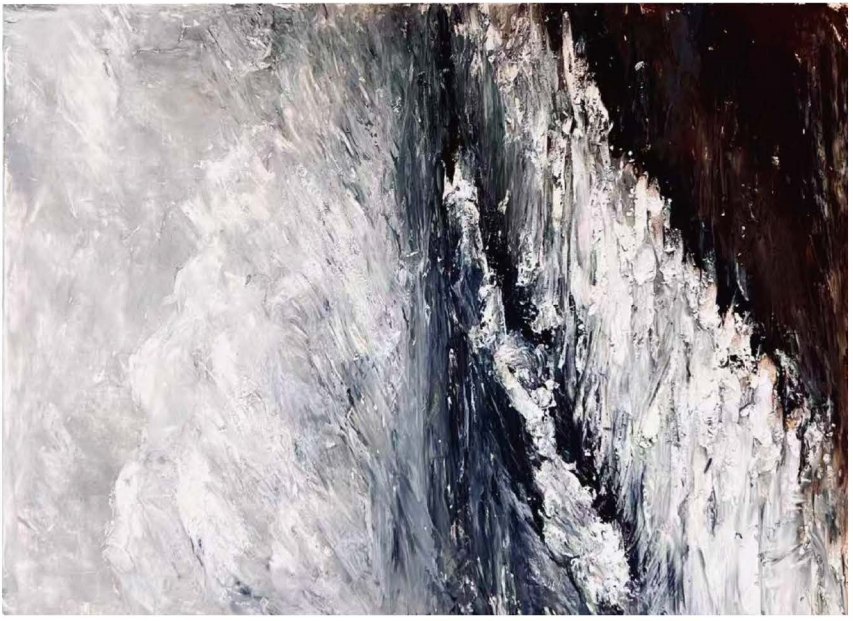
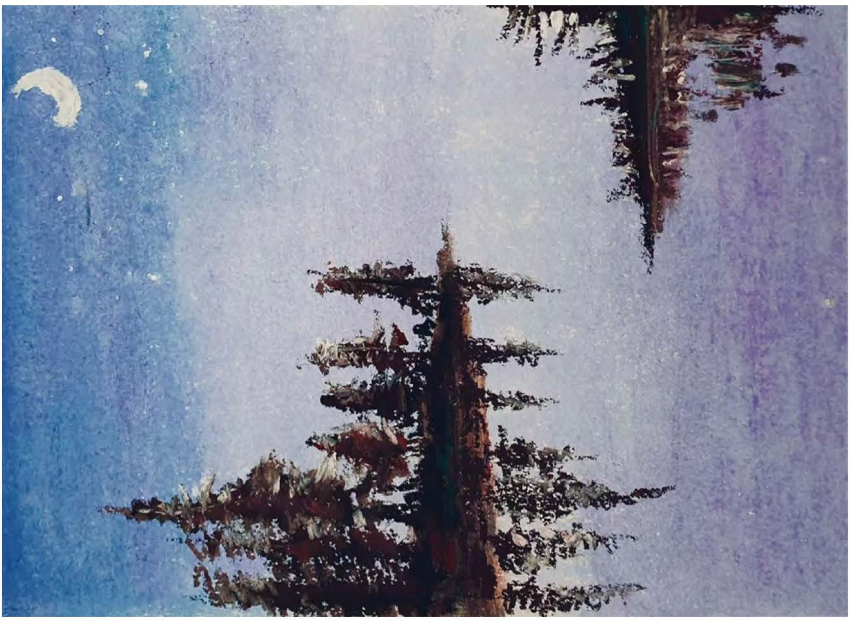
それとは違い、  
中国で売られている  
SAKURAのクレヨンの箱には、  
大きな、  
笑顔の太陽が描かれている。


















ク  
レパスは  
1925年に生まれた

サクラクレパス株式会社  
あの黄色い箱の、はじまりだ

それでも  
黄色は  
ずっと、そこにあった

